

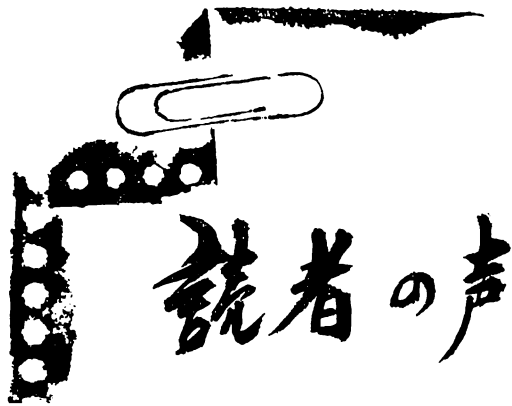


Title	読者の声
Author(s)	土田, 忠文; 須山, 弘; 浅野, 五三男 他
Citation	大阪公衆衛生. 1964, 15, p. 31-32
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/84591">https://hdl.handle.net/11094/84591</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



須山 弘 (大阪市東住吉保健所)

大阪市保健所在職12年、その間日常業務に追われ更に近年、結核管理、母子衛生、成人病対策等と毎年その業務量のみ増加し、一方地区住民の保健所に対する要望も急激にたかまり、如何にして効率的に処理していくかと云うことのみを考慮しつつ、ただ忙しく過して来た始末で従って本誌についてに誠に申訳けのない次第で余り精読していない。

ただ各部会の活動状況を見て、全く忙しい中を幹事諸兄の御努力の程、頭の下る思いで居ります。しかしながら保健所職員にしても協会の性格、その他事業目的等について、どれだけのものが理解もし、関心をもっているだろうか。この点については会員でもある我々の不勉強は責められるべきかもしれぬが各部会でも協会独自の事業として今後一層研修会、討議会等を実施してもらい、而もその内容等については紙質、印刷の点は余り上等でなくとも絶えずニュースを流してもらい、又、保健所としてその性格上、地区関係団体と連絡をとり乍ら業務を遂行している関係もあり、今後これ等各種関係機関団体の公衆衛生活動状況を大いに誌上にとりあげてもらいたい。

以上協会並びに本誌の今後の発展をお願いするとともに各役員幹事の御尽力に感謝致します。

浅野 五三男 (大阪府八尾保健所)

我々の八尾保健所に於いても府民の協力により新庁舎が完成し、7月18日知事を迎えて落成式が盛大裡に挙行された。行政面に於ける衛生行政の重要さが認識され、公衆衛生の第一線機関である保健所がこのような整備拡充されていくことは我々には嬉しいことである。しかしこれからの保健所の歩むべき道はけわしい。このような時に大阪公衆衛生協会が立派な雑誌を発行されていることは意義が深い。願わくば更に大学等の研究機関・保健所・市町村衛生関係等諸々の公衆衛生関係者

土田 忠文 (大阪市西成保健所)

連日30°Cをこえる炎暑の午後、編集世話の方より読者の声を書くように電話をうける。編集子の御苦労を感謝しつつ一年生所長、めくら蛇になんとやらで筆をとる。立派な雑誌を出しておられるのに失礼の点があれば猛暑で不快指数が高かったのだらうと許されたい。本誌は大阪公衆衛生協会の機関誌ではあろうが、どのような読者層に重点をおくかによって求められる内容も違ってくると思う。保健所の第1線で市民の話に耳を傾けていると、清掃の事、下水の事、道路の事、公害の事など、大都市における公衆衛生と呼ばれるものが非常に幅が広く、都市計画自体が健康都市建設(健康社会建設)と云う大目的の為になされねばならぬ事を痛感する。本誌は編集委員が大学、又は官公庁の堅実な模範的な衛生行政部門の人で占められている為か全般に堅きにすぎると思う。筆を執っておられる人も立派な人だが雑誌全体に強く官製の空気が充満している。大阪公衆衛生と云うその名の示す如く、この雑誌こそもっと町々の声を戴せたり、工営所、清掃、民生等或いは又その周辺の団体の声も入れて、本誌が真に大阪の公衆衛生を向上せしめ健康都市建設の推進力にまでなるようなものであってほしい。現誌は有益な論説、記事が多く立派であるが、民衆から遠く浮き上って府、市、大学等の官製機構の上で自己満足におちいる相が皆無とは云えまい。

暴言お許し願いたい。

の互の意見の発表の場とし、道しるべになって、机上の空論に終わらないように実際的な面からもとりあげて行くことが必要である。又名ある人の論説だけでなく直接担当者からも直の声を時々は聞いてほしい。このような中からは真の声が出て来るかも知れない。

今年オリンピックの年だ、外人が沢山日本に来て競技を見るだけでなく、四季によって変る美しい日本の自然を見て感歎するであろうが、一面都市の公衆衛生を見てどう思うであろうか、環境衛生の遅れの目立つことを指摘するであろう。チョット考えてみても、便所の問題、これに伴う下水道の不備、更に断水が加われれば、政治の貧困だけではすまされぬ切実な問題で、まさに菘づまりの状態である。

更に街を見れば、この中を流れる河川は汚れ、人々は塵芥、厨芥、汚水を平気で流す、河に流れるならまだ良いが、流れないで腐敗し不気味な悪臭と不気味な色を呈して堰とめられ水溜りと化し、ポーフラの絶好の発生地となっている。これなら環境衛生、食品衛生業務の警察移管論までとび出さないと限らない。この打開には衛生教育の充実と、行政担当者の理解あるのみである。衛生行政の両輪の一方がこわれそうでは致し方がない。この際我々は都市衛生を根本から考え直し、真正面から取組むべき時期ではないだろうか。

河野 ヤスエ (大阪府高槻保健所)

大阪府公衆衛生が送られて来て手にした時はそのすっきりしたスタイルにしばしばみとれます。

私のくせとして編集後記からよませていただくが印刷が美しくよみ易いのはありがたいものです。

必要に応じて又少しの時間があまった時など何回もよむ。1回ではなにげなしによんでいた文も何回目かに違った意味のよみ方が出来るのもうれしいものです。この会の様に職種の多い会誌でそれぞれの職種の人に魅力を持たす様にしなければならぬ編集者の苦勞に感謝します。

ただ私の不勉強で申しわけないが会の集りにはなかなか参加出来ません。この本で会のうごきを知るのみです。この様な会員も有ることでしょうから部会だよりのみでなく部会で行われた行事の内容の中心点討議内容等もう少しくわしくのせていただければと思います。又、忙しくしていますと良い催しものが有っても時間的に参加出来ない場合も度々有るので各会の年間行事開催日をあらかじめきめてしらせておいていただくと参加しやすくなるのではないのでしょうか。

又、予防部会は医師の会ではありますが内容により各職種に関連のある事も多いものですからそれらの問題点、方法等も分析してその内容に対する各職種の取りくみ方等くわしく御指導いただきたいと思っています。

「読者の声」をお寄せください。

あなたの体験や考え方。思い出や将来への希望。今、当面していること。そしてこの雑誌についての意見や提案を送ってください。

字数は600字ぐらい。原稿用紙に横書きで書いていただければ、ありがたいです。

締切 ありません。いつでも結構です。  
送り先 協会事務局(府医務課内)または各編集委員。

謝礼 掲載分には薄謝謹呈。

読	者
の	声